

☆「だまされない・勘違いしない」

― 憲法、経済、沖縄 ―

「お試し改憲」にだまされない

◇安倍首相は「9条改正に国民の理解は深まっていない」と言っています。改憲の本命は9条にあるのですから、ならばやめておけばよいのと思いませんか？

◇しかし政権はしたたかで夏の選挙では、先ず変えやすいところから理解を得て憲法改正を訴えると言います。いわゆる「お試し改憲」です。

◇それにだまされてはいけません。政府やマスコミの説明を鵜呑みにせず、その先何が待っているのかをしつかりと見抜きましょう。うつかりお試し、改憲に乗ると将来この国が戦争をする国に持つて行かれる危険性があります。

アベノミクスは庶民を豊かにしているか

◇求人数が増えているし株価が堅調だ、だから豊かになっていると勘違いしていませんか。暮らし向きはよくなっていますか？求人数が増えているのは、正規雇用をフリーにしたため企業が安い賃金で雇いやすくなったからで、株価が堅調なのは日銀の金融政策によるもので実体経済ではありません。

◇消費税が10%になると庶民の生活はますます苦しくなります。その一方で企業、特に大企業は莫大な利益を上げています。なのに政府は企業には減税をしてあげると言います。政府がどちらを向いているかこれで分かります。

◇電気が十分足りて、自然エネルギーも軌道に乗って来ているのに、核燃料廃棄物の行き先もない危険な原発を動かす。企業の儲けのためです。これでも政府がどちらを向いているのが分かるでしょう。

辺野古工事、代執行訴訟和解のねらいは

◇沖縄・辺野古埋め立て工事の代執行訴訟が、沖縄高等裁判所の和解案双方受け入れて工事中断となりました。国が沖縄に理解を示したのでしょうか？

◇違います。安倍首相は「辺野古移設が唯一の解決策だということに変わりはない」と態度は全く変わっていません。ならば、なぜ今なのでしょうか。

◇参院選にあたり、国は沖縄に優しいという印象を与えて選挙を有利に戦う意図がみられます。選挙が終わったらどのような手を打ってくるか全く分かりません。注視しよう。無関心や勘違いは沖縄を見捨てることにつながります。

二〇一六年三月十三日（日）護憲平和行進（通算589回目）

★浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

日本国憲法第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。